

「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (欧州通貨コース)/(円コース)/(豪ドルコース)」
2012年5月14日決算の分配金のお知らせとQ&A

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (欧州通貨コース)/(円コース)/(豪ドルコース)」^{※1}の2012年5月14日決算の分配金をご連絡いたします。

※1 以下、総称して「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」または「各ファンド」、各々、「欧州通貨コース」、「円コース」、「豪ドルコース」という場合があります。

欧州通貨コース	:1万口当たり45円(課税前)(前月は75円)
円コース	:1万口当たり75円(課税前)(前月は75円)
豪ドルコース	:1万口当たり100円(課税前)(前月は120円)

毎月の毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行います。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

豪ドルコース及び欧州通貨コースについては、分配金に対する注目・関心が高まる環境下^{※2}、平均最終利回り(為替ヘッジプレミアム等を考慮)^{※3}、基準価額水準等を勘案して、より保守的な分配金水準と致しました。

※2 投資信託協会からファンドの約款・目論見書に定める分配方針などを考慮し保守的に分配金を決定するよう方向性が示されています。

※3 当利回りは、ファンドが実質的に組入れている債券等の平均最終利回りに、為替ヘッジプレミアム/コストを考慮したものです(くわしくはQ5)。

分配金決定の背景は以下の通りです。

【豪ドルコース】

2012年4月1ヵ月間の債券要因のインカムゲインは38円、為替ヘッジプレミアム等は22円となり、ファンド全体のインカムゲインに相当する額は60円となっております(2012年4月末の為替ヘッジプレミアム込みの平均最終利回りは11.3%)。ファンドでは、2010年4月以降120円分配を継続して参りましたが、分配金に対する注目・関心が高まる環境下、平均最終利回り、基準価額水準等を勘案して、より保守的な分配金となるよう、2012年5月14日決算の分配金を100円と致しました。なお、4月末時点で、基準価額は6,860円ですが、分配金込みの基準価額は設定来で35.8%上昇し、直近の半年間で11.6%上昇しております。

【欧州通貨コース】

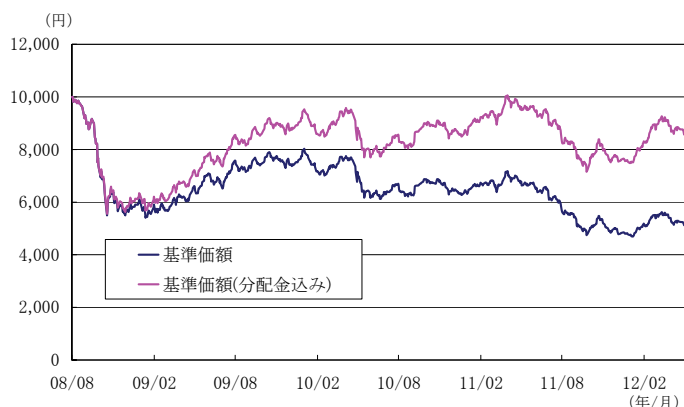
2012年4月1ヵ月間の債券要因のインカムゲインは29円となっております(2012年4月末の平均最終利回りは7.3%)。ファンドでは、2008年10月の初回決算以降75円分配を継続して参りましたが、分配金に対する注目・関心が高まる環境下、平均最終利回り、基準価額水準等を勘案して、より保守的な分配金となるよう、2012年5月14日決算の分配金を45円と致しました。なお、4月末時点で、基準価額は5,278円ですが、分配金込みの基準価額は設定来で11.8%下落し、直近の半年間では6.5%上昇しております。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金は、ファンドの資産から支払われるものです。分配金として分配されない分はファンドの資産として残り、一緒に運用されます(くわしくは Q1～Q2)。ファンドをとりまく投資環境および今後の運用方針等については後述をご覧ください(くわしくは Q3～Q6)。

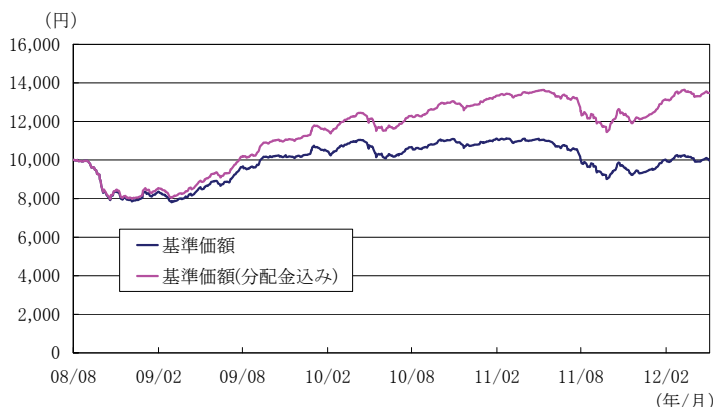
欧州通貨コースの基準価額の推移

期間:2008年8月11日(設定日)～2012年5月14日、日次



円コースの基準価額の推移

期間:2008年8月11日(設定日)～2012年5月14日、日次



豪ドルコースの基準価額の推移

期間:2008年8月11日(設定日)～2012年5月14日、日次



2012年5月14日現在の基準価額と純資産総額

	基準価額	純資産総額
欧州通貨コース	5,103 円	51.1 億円
円コース	9,971 円	21.4 億円
豪ドルコース	6,534 円	1,504.1 億円

毎月の分配金(1万口当たり、課税前)の推移

※設定日=2008年8月11日

決算時 ファンド	2008年10月～ 2009年7月	2009年8月～ 2010年3月	2010年4月～ 2012年4月	2012年5月	設定※来累計
欧州通貨コース	75円	75円	75円	45円	3,270円
円コース	45円	75円	75円	75円	3,000円
豪ドルコース	100円	100円	120円	100円	4,900円

- ・上記の基準価額(分配金込み)の推移は、設定日前日を 10,000 円として、税引き前分配金を分配日に再投資したものと計算した分配金込み修正基準価額です。期間収益率は、分配金を課税前再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。
- ・基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額です。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

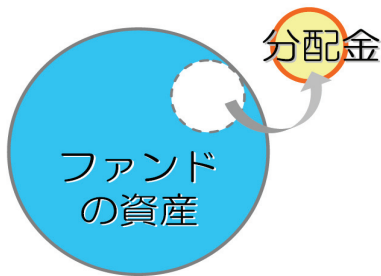
当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

Q1 分配金のしくみについて教えてください。

投資信託の分配金は、ファンドの収益の一部を支払うものです。分配金は元本と分けて管理されるわけではなく、決算を迎えるまでファンドの資産として一緒に運用されています。分配金が支払われると、その分資産が減り、基準価額は下がります。

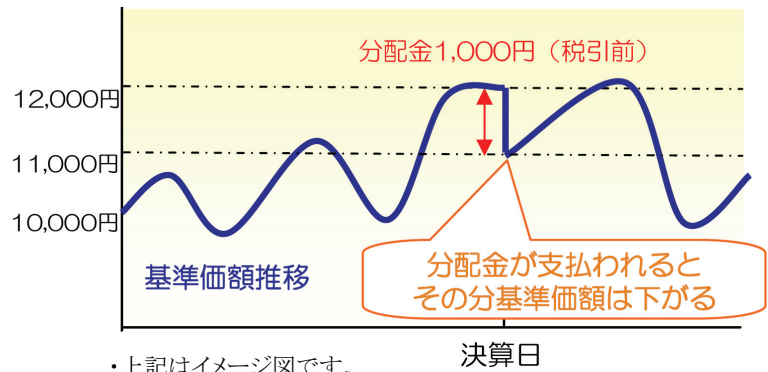
銀行などの預貯金の場合、預けた元金とは別に利子や利息を受け取るようになりますが、分配金はあくまでファンドの資産の一部であるということにご注意ください。

<分配金支払い後の資産のイメージ>



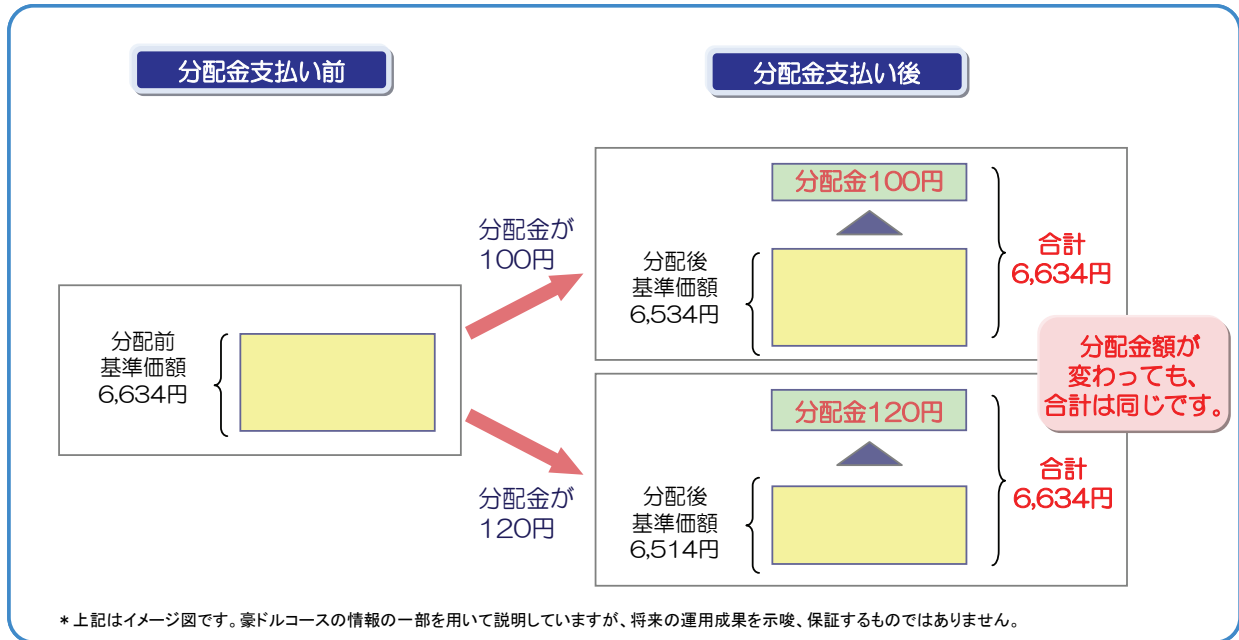
・上記はイメージ図です。

<分配金支払い前後の基準価額推移のイメージ>



・上記はイメージ図です。

<分配金支払い前後の基準価額と分配金のイメージ>



* 上記はイメージ図です。豪ドルコースの情報の一部を用いて説明していますが、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)、記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

Q2 分配金は多かったら得で、少なかったら損なのですか？

分配金はファンドの資産から支払われるため、分配金が多かったら得で、少なかったら損とは一概にはいえません。分配金と基準価額の値上がり益／値下がり損を合わせて考えることが大切です。下図は、分配金支払い前の基準価額を11,000円と仮定し、分配金なしの場合と分配金あり(分配金1,000円)の場合で、どちらが優位になるかを、決算日以降に基準価額が上昇した場合、下落した場合で比較しています。

【基準価額が20%上昇した場合】(図1)

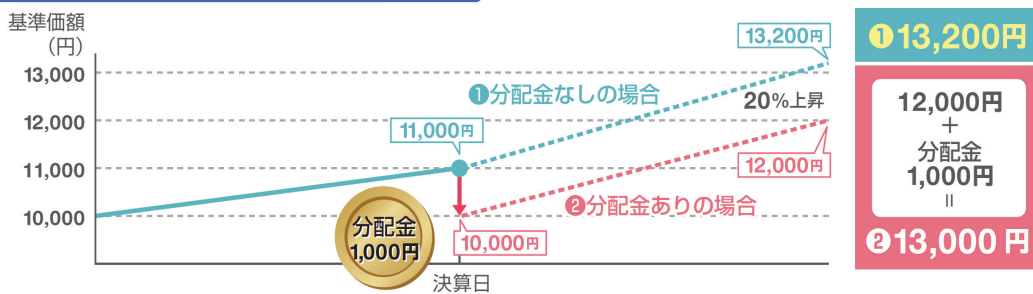
分配金なしの場合の基準価額は13,200円(=11,000×1.2)、分配金ありの場合の基準価額は分配金(1,000円)との合計で13,000円(=10,000×1.2+1,000)となります。基準価額が上昇した場合は、結果として、分配金なしの方が良い投資成果が期待できます。

【基準価額が20%下落した場合】(図2)

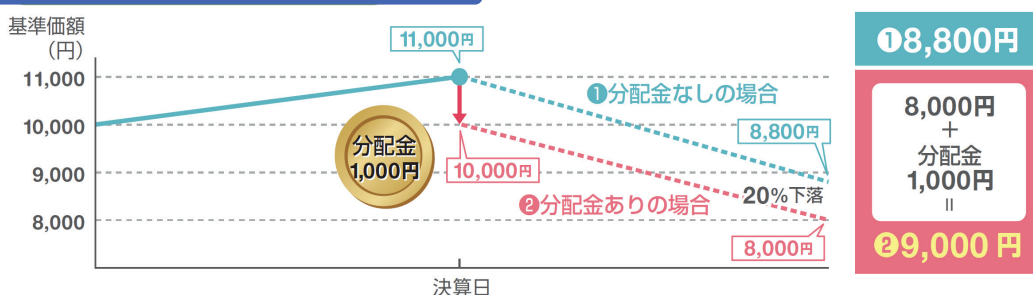
分配金なしの場合の基準価額は8,800円(=11,000×0.8)、分配金ありの場合の基準価額は分配金(1,000円)との合計で9,000円(=10,000×0.8+1,000)となります。基準価額が下落した場合は、結果として、分配金ありの方が良い投資成果が期待できます。

上記から、分配金が多かったら得か、少なかったら損なのかは、その後の基準価額の動きによるため、一概にはいえないことがわかります。

(図1) 基準価額が20%上昇した場合



(図2) 基準価額が20%下落した場合



・上記はイメージです。実際の基準価額や分配金額について示唆、保証するものではありません。説明を簡素化するため、費用・税金等は考慮していません。また、分配金は再投資せず、払い出したものと仮定しています。

ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)、記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

Q3 欧州ハイ・イールド債の投資環境と見通しを教えてください。

【投資環境】

2010年初めより、ギリシャの財政悪化に端を発した債務問題が欧州地域全体へ波及する懸念が高まる中、欧州連合(EU)当局等の対応の遅れが嫌気され、欧州ハイ・イールド債をはじめとするリスク資産は下落しました。その後、ユーロ加盟国とIMF(国際通貨基金)によるギリシャ支援の決定や、財政難に陥った国に対する支援の枠組みとして「欧州金融安定ファシリティ」が設立されるなど、欧州連合当局等が金融市場の混乱に対して解決策を打ち出し始めたことで、欧州ハイ・イールド債市場は落ち着きを取り戻し、概ね堅調に推移しました。

2011年後半になると、イタリアやスペインなどへの債務問題の波及が懸念されたことや、欧州にある金融機関の資本面に対する不安が高まったことなどをを受けて、欧州ハイ・イールド債市場は軟調に推移しました。

2012年に入ると、ギリシャに対する追加支援が合意され、ギリシャが「無秩序なデフォルト(債務不履行)」に陥るリスクが後退したほか、米国では雇用関連の経済指標が改善するなど、先進国を取り巻く環境に明るい兆しが見え始めました。また、ECB(欧州中央銀行)が2度のLTRO(3年物資金供給オペ)を通じて約1兆ユーロもの資金を欧州の金融機関に注入したことも、欧州ハイ・イールド債市場を支える要因となっています。

2009年末以降2012年4月末までの欧州ハイ・イールド債市場のパフォーマンスは、国債利回りが総じて低下したことなどがプラス要因となり、上昇基調で推移しました。セクター別では不動産、保険、化学などが上昇した一方、ホテル、固定電話、携帯電話などが下落しました。

【見通し】

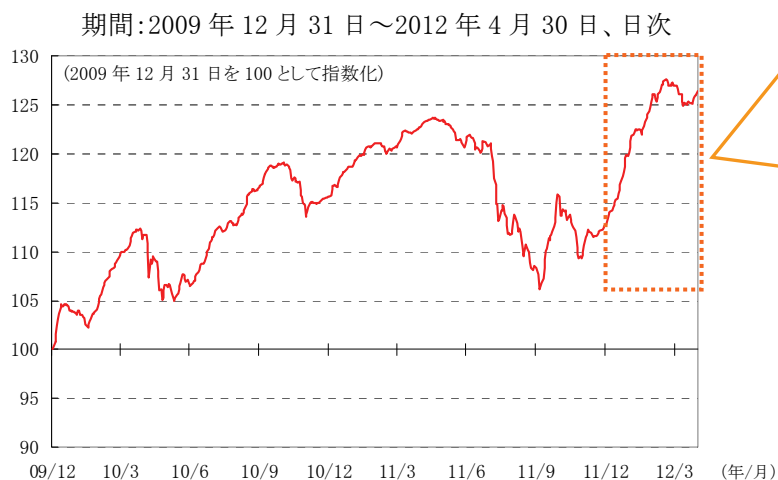
2012年初より見られたリスク資産の上昇は、主要先進国の金融緩和の効果によるものと考えられ、同金融政策は構造問題解決までの時間稼ぎという意味合いも強いため、各国の経済が自律回復局面へ移行するためにも、先進国の構造問題への対処が当面の重要なポイントとなります。

一方、欧州企業は債務削減に取り組んでおり、欧州地域の家計や政府などの経済主体と比較するとバランスシート上の負荷が軽い状況が継続しており、「欧州政府による債務問題」と、「欧州企業の財務状況」は、ある程度一線を画していることを意識することが重要です。欧州企業のファンダメンタルズ(基礎的条件)の改善は、デフォルト率が低水準で推移していることにも表れており、これまでのところ債務問題による影響は限定的なものとなっています。

また、欧州ハイ・イールド債の利回り水準にはデフォルト率の上昇が織り込まれており、バリュエーション(投資価値評価)上有利とする見方もあります。欧州債務問題を受けて当面は値動きの大きくなる可能性もありますが、今後市場が落ち着きを取り戻す段階では、欧州ハイ・イールド債の良好なファンダメンタルズと高い利回りに再び注目が集まるものと考えています。

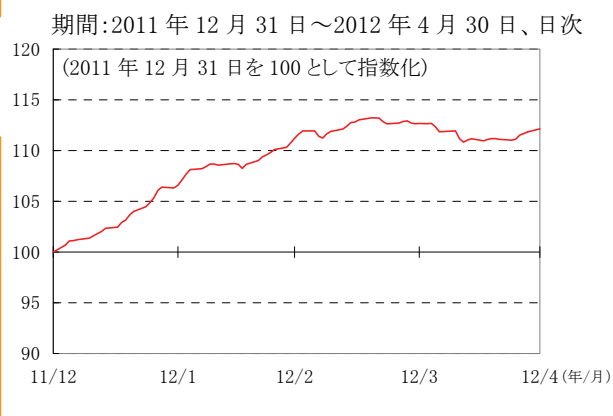
当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

欧州ハイ・イールド債のトータルリターン(現地通貨ベース)



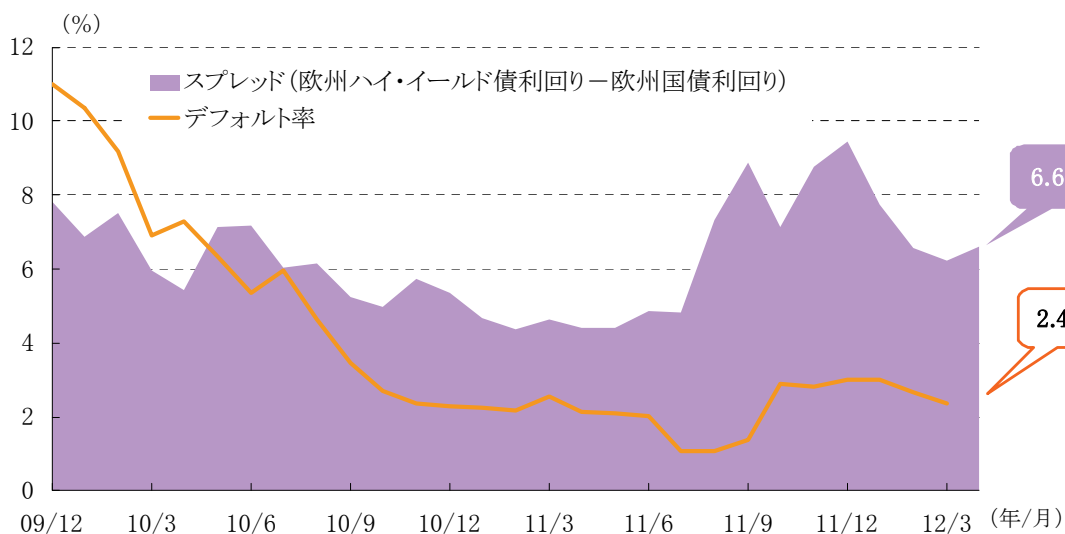
欧州ハイ・イールド債: BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス
(出所)ブルームバーグの情報に基づき野村アセットマネジメント作成

2011年12月31日以降の推移



欧州ハイ・イールド債券市場のスプレッドとデフォルト率*の推移

期間:2009年12月末～2012年4月末、月次 ※デフォルト率は2012年3月末まで



- ・スプレッド: 欧州ハイ・イールド債利回り－欧州国債利回り
- ・デフォルトとは、債券の利子や元本の支払いが定められた契約どおりに履行されないことです。
デフォルト率の定義: (過去12ヵ月間にデフォルトしたハイ・イールド債の発行体数) ÷ (同時期のハイ・イールド債発行体総数(期中に償還された債券等の発行体は除く))
- ・欧州ハイ・イールド債: BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、
欧州国債: BofA・メリルリンチ・汎ヨーロッパ・ガバメント・インデックス
(出所)ブルームバーグ、ムーディーズのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

Q4 各コース(円コースを除く)の主な投資対象通貨の投資環境と見通しを教えてください。

【ユーロ:投資環境】

2009年12月末以降、欧州各国の財政状況に加え、労働市場の硬直性がもたらす高失業率など、欧州経済の抱える構造問題が浮き彫りとなったことが重石となり、ユーロは対円など主要通貨に対して概ね下落しました。

<見通し>

欧州債務問題の本質的な解決はまだ道半ばであり、ユーロ圏の単一通貨制度に対する課題を指摘する声も残る中、今後ユーロが本格的な回復を遂げるには時間を要すると考えています。

【豪ドル:投資環境】

主要国の財政悪化が深刻さを増す中、豪州は2012年から2013年にかけて財政黒字化を目指すなど、経済ファンダメンタルズの底堅さを見せましたが、欧州債務問題を懸念する投資家心理の影響を受けて、豪ドルは不安定に推移し、2009年12月末と比較すると概ね横ばいとなりました。

<見通し>

世界経済の減速など外部環境による影響を受け、短期的には豪ドルは値動きが大きくなる可能性があります。一方、豪州は地理的利点によりアジア諸国の資源需要の恩恵を受けると考えられることや、主要国が格下げされる中でもAAA格(S&P社)の格付けを維持するなど、健全な財務状況が続いていることなどが、今後の豪ドルの支援材料となると考えています。

投資対象通貨の推移(対円)



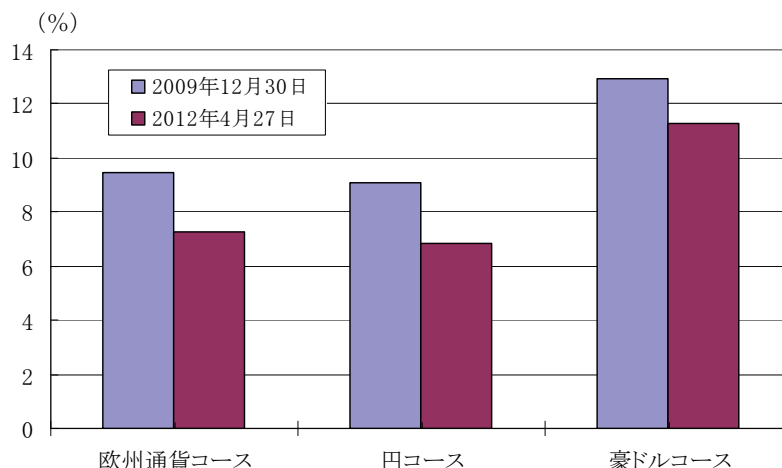
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

Q5 ファンドの為替ヘッジコスト/プレミアム込み最終利回りについて教えてください。

2009年12月末と2012年4月末を比較すると、各ファンドの為替ヘッジコスト/プレミアム込み平均最終利回りは低下しております。

各ファンドの為替ヘッジコスト/プレミアム込み平均最終利回り(現地通貨ベース)



- ・平均最終利回りとは、ファンドが実質的に組入れている債券等(現金を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したものです。
- ・欧州通貨コースは最終利回りのみです。
- ・円コースの為替ヘッジコスト込み最終利回りは、欧州通貨コースの平均最終利回りから、ユーロと円の短期金利差(3ヵ月ユーロLIBOR-3ヵ月円LIBOR)を減算して推計しております。
- ・豪ドルコースの為替ヘッジプレミアム込み最終利回りは、欧州通貨コースの平均最終利回りに、豪ドルとユーロの短期金利差(3ヵ月豪ドルLIBOR-3ヵ月ユーロLIBOR)を加算して推計しております。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

Q6 今後の運用方針を教えてください。

引き続き慎重な業種・銘柄選択を行い、景気の下振れや債務問題による影響を受けにくい保守的なポートフォリオの構築に努めます。具体的には、安定的なキャッシュフローが見込めるケーブルテレビや、財務状況の改善が見られる化学の保有比率を多めとする一方で、原油価格の動向に影響を受けやすいとされる航空や、ファンダメンタルズが脆弱であると判断した欧州の周縁国の銀行の保有比率を抑える方針です。

今後とも「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

ー使用インデックスについてー

BofA・メリルリンチ・汎ヨーロッパ・ガバメント・インデックス(BofA Merrill Lynch Pan-Europe Government Index)、BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch European Currency High Yield Constrained Index)に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属します。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 欧州通貨建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」は、投資する外国投資信託において為替ヘッジ手法の異なる3本のファンド(欧州通貨コース、円コース、豪ドルコース)から構成されています。
- 円建ての外国投資信託「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
◆「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」には、為替ヘッジ手法の異なる3つのクラスがあります。

ファンド名	ファンドが投資対象とする外国投資信託の為替ヘッジ手法
欧州通貨コース	欧州通貨建て以外の資産を、原則として対ユーロで為替ヘッジを行いません。
円コース	円建て以外の資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース	豪ドル建て以外の資産を、原則として対豪ドルで為替ヘッジを行いません。

- 通常の場合においては、「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の場合においては、「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。
- 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「野村マネー マザーファンド」は、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- 原則、毎月13日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。
※「原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に外貨建債券を実質的な投資対象としますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【お申込みメモ】

(2012年5月現在)

くわしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 信託期間 平成30年10月15日まで(平成20年8月11日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の毎決算時(原則、毎月13日。(休業日の場合は翌営業日))に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 当初お申込み: 20万円以上1円単位
追加お申込み: 1万円以上1円単位
投信自動積立: 1万円以上1千円単位
※「追加お申込み」とは、お申込み時点で当該ファンドの保有残高がある場合、または「投信自動積立」をすでに申込みの場合をいいます。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
※原則、ご換金申込日から起算して6営業日目からご換金代金をお支払いいたします。
- スイッチング 欧州通貨コース・円コース・豪ドルコースの各コース間でスイッチング可能
スイッチング価額: ご購入価額/ご換金価額と同じ
三井住友銀行でのスイッチングのお申込みは、店頭またはテレホンバンキング(オペレータ)のみのお取り扱いとなります。インターネットバンキングではお取り扱いいたしません。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込み日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・フランクフルト証券取引所 ・ニューヨークの銀行 ・フランクフルトの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
※くわしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(2012年5月現在)

【当ファンドに係る費用】

投資信託はご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.675%(税抜3.5%)の率を乗じて得た額 <スイッチング時> ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.68%(税抜年1.60%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等が、お客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記は三井住友銀行による取り扱いであり、ご購入単位およびご購入時手数料等の詳細は販売会社によって異なります。

くお申込みに際してのご留意事項

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行ないます。
- インターネットバンキング・モバイルバンキング・テレホンバンキング(SMBCダイレクト)での投資信託取引は、20歳以上の方に限ります。
- 本資料は野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込み



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用

野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
社団法人投資信託協会会員
社団法人日本証券投資顧問業協会会員

当資料は、欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。